

第1回シンポジウム 終了

どうもありがとうございました!

あれから30年

NVNAD2025プロジェクト

～みんなが助かる社会をめざして～

9月2日(土)、西宮市民会館にて「あれから30年 NVNAD2025プロジェクト～みんなが助かる社会をめざして～」を開催しました。

日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)は阪神・淡路大震災を起因に発足し、2025年1月に30年を迎えます。皆さまのご支援のもと積み重ねてきた災害支援および被災地支援の経験や思いをできるだけ多くの方々と共有し、更に今後へ繋げていくことを目的とした連続シンポジウムを2025年までに計8回開催させていただく予定です。



その初回となる今回のシンポジウムでは「いつでも始められる地区防災計画」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。災害が激甚化しつつある昨今、いつ自分が被害に遭うか分からない状況であり、災害を他人ごとではなく自分ごととして捉えていただくべく、お住まいの地区ごとの防災計画を作ることは非常に重要、かつ必要なことです。

当日のパネリストである大山武人さま*1、森下邦弘さま*2 から経験に基づいた貴重なお話を聴かせていただき、参加された皆さまも「ご自身がお住まいの地域の地区防災計画」についてイメージが膨らんだのではないのでしょうか。

コーディネーターは矢守克也*3 が務め、当団体の常務理事である寺本弘伸も登壇させていただきました。協賛の一般社団法人日本損害保険協会さま、後援ご協力いただきました企業・団体さま、そして当日会場まで足を運んでくださった皆さまに、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

*1 NHK大阪放送局 シニア・アナウンサー

*2 福知山市役所 市民総合部危機管理室室長

*3 京都大学防災研究所教授、NVNAD理事

今後のシンポジウムチラシを同封させていただきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- c o n t e n t s -

- P 1 . . . 第1回シンポジウム終了
- P 2 . . . Rijicho's column / 福知山&丹波のその後を訪ねて . . .
- P 3 . . . 岩手県野田村交流事業/災害ボランティア養成講座
- P 4 . . . Vision1.17 / トルコ・シリア大地震～別の形での支援～
- P 5 . . . 生協フェスタ/子ども防災クラブ/高木秋まつり
- P 6 . . . 《今後のご案内》 ①防災パーク@そねちか ②大阪マラソン2024
- P 7 . . . Nうごき・Nごよみ
- P 8 . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま/カレンダー市中止のお知らせ/支援のお願い/編集後記

Rijicho's column

《 11月のご挨拶 》

11月に入ったというのに暑い日が続くなか、59年ぶりの関西勢対決を制して、阪神タイガースが38年ぶりの日本一に輝きました。大いに盛り上がった野球

シーズンも幕を閉じ、今年も残すところあとわずかとなりました。

例年、年が明けるとカレンダー市ということで、会員やボランティアの皆さん、カレンダーをご提供いただいております企業の皆さんなどのご協力をいただきながら続けてまいりましたが、コロナ禍の影響により、ここ3・4年、以前のように多くの皆さんにご来場いただく形で開催させていただくことができずに心苦しく思っております。来春に向けてもなんとか開催できないかと準備を進めてまいりましたが、皆さんに安心してお越しただける会場の確保ができず、開催を見送ることとなりました。毎年楽しみにして下さっている皆さんには、本当に申し訳ありません。

私たちの団体は、いざという時の災害救援活動や平常時の防災・減災活動に軸足を置いていますが、こうした活動を効果的に行うためには、日ごろから顔の見える関係づくりが大切だと考えており、カレンダー市もそうした思いで続けてまいりました。形は変わりますが、昨年から国土交通省のご協力を得てはじめた「防災パーク@そねちか」は、今年も11月25日(土)・26日(日)にJR北新地駅直結の曾根崎地下歩道で開催いたします。また、チャリティパートナーとして参加させていただく「大阪マラソン2024」は、令和6年2月25日(日)に行われます。どちらのイベントも多くの皆さんにご来場いただきたいと思いますし、可能であればお手伝いいただけると幸いです。カレンダー市では、毎年、皆さんのお元気な顔を拝見できることが、私たちスタッフにとってとても楽しみでした。当日の飛び入り参加でも結構ですから、両イベントで皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

(NVNAD理事長 檜垣龍樹)

福知山 & 丹波のその後を訪ねて…

8月9日(水)、NVNAD第1回シンポジウム(9/2開催)にご登壇いただくパネラーの方に、ご挨拶と打ち合わせのため福知山市役所を訪問しました。福知山市には、2013年の水害時に支援に入らせていただいていた以来、久しぶりの訪問でしたが、毎年のように水害や土砂災害が発生しており、市の担当者からこれまでの災害の歴史をお聞きしましたが、災害に対する市民の意識が高い地域であることを改めて実感しました。

福知山市役所訪問後は、レンタカーを借りて丹波市の前山(さきやま)地区を訪問しました。この前山地区は、2014年の豪雨災害時に、何度も支援に入らせていただいた地域で、今でも交流を続けさせていただいています。8月26日(土)には、前山コミュニティセンターにて講演会が開催され、地元からの依頼で豪雨災害当時の写真を見ていただきながら、前半は当時の被災状況やボランティア活動について説明を行い、後半は防災ゲーム「クロスロード」を担当させていただきました。

あれから9年が経過して、生活環境はだいぶ復興したかと思いますが、まわりの山々を眺めると土砂災害の爪痕が色濃く残っているのがとても印象的でした。



岩手県野田村交流事業

(NVNAD理事 米山清美)

2012年度以来続いた野田村と西宮の子どもたちの相互交流のまとめをするために、今年8月コロナ禍で4年ぶりに通常開催された野田まつりの期間中に訪れました。

今回は西宮市でプレーパーク（冒険遊び場）を運営し、2011年7月以来毎年同村で出前プレーパークを開催してきた「にしのみや遊び場つくる会」のメンバーや小中学生が同行。彼らは野田村の子どもたちが西宮に来た際には、ホームステイ先として交流事業に協力してくれていました。

今回は4年ぶりに復活した子ども神輿を手伝ったり、19年ぶりに再開した「のだ港まつり」海上パレードにも参加しましたが、これまでの交流でお世話になった野田村の方々を滞在期間中出来る限り尋ねました。初めて野田村の子ども達を西宮に招待したのは2013年1月でした。当時小1だった子どもたちは高3に。最初から毎年来ていた小2男子は、カッコいい大学生になっていました。祭り会場ではそんな彼らが声をかけてくれ、保護者達にもたくさん出会いました。同行した中2と小5の子ども達は初めての野田村でしたが「大きくなったなあ」と言われ、初めて来たのに自分のことを知っている人が多かったと言っていました。

今回はNVNADとしては最後になるということで、村の方たちへの感謝の気持ちも込めて西宮の和菓子屋さん提供のお菓子を、ココロブ手作り紙のペーパーバッグに入れて手渡しました。手伝った子どもたちは野田村の人たちが皆優しく話したと話し、野田村にはぜひまた行きたいと今も言っています。この他、今年の2月に生徒会とオンライン交流をした野田中学校や、防災アニメでお世話になった野田保育所も訪ね、仮設住宅で交流した一人暮らしの女性とも復興住宅で再会。SNSでの子育て相談を受けていた保護者の元気な顔も見ることが出来ました。

事業としては終了しますが、野田村の方々とは今後も何らかの形で繋がっていければと思っています。



写真上：野田中ソーランを踊る野田中生
下：野田まつりの子ども神輿



西宮からの支援品を渡す子ども達
(野田村社会福祉協議会にて)

災害ボランティア養成講座

9月14日（木）、関西学院大学上ヶ原キャンパスにて、大学内にあるヒューマン・サービス支援室と学生グループである災害コミュニティつむぎが中心となり、西宮市社会福祉協議会や当団体が連携して、学生を対象に「災害ボランティア養成講座」を開催しました。プログラム内容は、最初にアイスブレイキングのために簡単なレクリエーションゲームを行ってから、東日本大震災や熊本地震など、被災地で実際に活動する災害ボランティアについてスライドを使って事例紹介をしました。その後、教室内に避難所を想定して、車いすや高齢者の疑似用具を使用して体験してもらい、障害者や高齢者など身体の不自由な方が、避難所生活では何が大変かを、体験後に参加者全員で話し合ってもらいました。

参加した学生さんたちにとってはとても新鮮な経験だったようで、災害ボランティアのことだけではなく、高齢者や障害者についても色々気づきがあったようです。

@関西学院大学



Vision 1.17

このコラムでは、私がNVNADを通じて学んできた事柄を、いくつかのキーワードに整理し、少し専門分野の知見も取り入れながら紹介してきました。専門分野のグループ・ダイナミックスをコンパクトに紹介した後、「防災と言わない防災」、「被災地のリレー」と進んできました。今回は、「ただ傍にいる」というキーワードを採り上げます。

災害が発生すると災害ボランティアが被災地に向かいます。そこには、災害に破壊された風景が広がり、現地の方々が身を寄せ合い、助け合いながらも途方に暮れておられる姿があります。そんなとき、災害ボランティアはどうすればいいのでしょうか？「炊き出しをしますから集まってください」、「このダンスはもうだめですね、捨てましょう、運びます」、「災害ボランティアセンターからこの泥出しをすると聞いてきましたので始めます」、「英語が話せます、英語が必要な方はいらっしやいませんか」・・・どれも大切な手助けです。作業が完了すれば喜ばれることもありますし、コミュニケーションがとれてほっとされる場面もあります。

しかし、どこか被災された方々の戸惑われる姿が見えてきませんか？見ず知らずのボランティアが現れて、元気いっぱい活動を開始することへの戸惑いでもいいでしょうか。確かに、ボランティア側も限られた時

間の中で何かお手伝いしようと思って駆けつけたのですから、被災者に会えばすぐに取りかかりたい気持ちもわかります。しかし、ここはまずじっくりと目の前の方と向き合う場面ではないでしょうか？似たような場面としましては、入院中の友人をお見舞いされる時を想像するといいかもかもしれません。花を換えましょう、お茶をのみませんか、窓を開けましょうか・・・矢継ぎ早にそんなことは言わないと思います。

災害ボランティア活動で大切なことは、様々な技術を持っていることや、体力があることなどいろいろと思いつかびますが、それ以前に大切なことは、被災された方々の「ただ傍にいること」ではないでしょうか？「ただ」というところが大切です。何か特別なことをするのではなく無条件にという意味です。また「傍」といっても厳密な距離は様々でしょう。そして、「ただ傍にいる」時間も数分という場合もあれば、2～3日かかることもあるでしょう。その場に応じて、敢えて何もしない時間をもつことの大切を表しているのが「ただ傍にいる」というフレーズです。

NVNADでは、阪神・淡路大震災30年に向けて連続シンポジウムを開催しています。私たちがこれまで取り組んできた様々な活動をご紹介します、これからの救援や防災と一緒に考えていく場となればと願っています。もし気に入っていただければ、現場にご一緒しませんか？そのとき、もっとも大切にすべきことは、被災者の「ただ傍にいること」なのだと思います。

(NVNAD副理事長 渥美公秀)

トルコ・シリア大地震

～別の形での支援～

8月19日(土)、トルコ・シリア地震で被害にあった方々に、CODE海外災害援助市民センターの支援の一つで、暑さが厳しいトルコの仮設住宅などにうちわを届ける活動に当団体も一部ご協力させていただきました。うちわは、元は骨組みと白地のシールだけになっており片面を日本で、もう片面をトルコでメッセージを描いてもらって完成させ、被災地にお届けになります。

うちわにメッセージを描く当日は、CODEの学生スタッフさんがお越しになり、理事の米山が運営する西宮市の国有地プレーパークにて、当日遊びに来ていたお子さんにうちわにメッセージや絵を描いてもらい、学生スタッフさんにお渡しいたしました。

今回のうちわが現地の方々の手に届き、遠くの日本からの繋がりを感じていただけたら幸いです。



「がんばって描くぞ!!」



仕上がり見本

生協フェスタ

@花博記念公園鶴見緑地

9月24日(日)、花博記念公園鶴見緑地「ハナミズキホール」で開催された生活クラブ生協フェスタに参加しました。当日は近畿ろうきんさまと合同でブースを開き、「ぼうさいダック」を実施させていただきました。



ぼうさいダックのカード(一例)

きました。

ぼうさいダックは実際に身体を動かしたり声を出すなど遊びながら防災を学ぶことができるカードゲームです。

当日はたくさんのお子さん、「もしもの時にまず最初にどんな行動をするか」をゲームを通して体験してもらいました。ご協力くださったインターンの学生さん、どうもありがとうございました。

子ども防災クラブ

10月14日(土)高木小学校にて、子ども防災クラブの活動を行いました。今回は「身近にあるもので防災グッズを作ろう!」をテーマに、ストーリー性を持って進めました。まずは災害が発生し負傷者が出た想定で、長い棒2本と毛布を使って「簡易担架」を作りました。そして、避難所で悩みの種となる「トイレ」を段ボールとビニール袋を使って作成しました。



物干し竿×2+毛布=簡易担架



段ボール+ビニール袋=トイレ

続いて、新聞紙を使って「お皿」と「コップ」を作り、ビニール袋をかぶせて実際に使用してみました。子どもたちはどのチャレンジにも一生懸命に取り組み、みんなで協力する大切さも学んでくれたようです。最後に家庭科の先生(別の小学校ですが)による「災害食のお話&クイズ大会」を行いました。この度の取り組みを今後何かの形で活かしてくれると嬉しいです。ご協力くださった好村先生、リーダーの皆さん、どうもありがとうございました。

新聞紙で作ったお皿とコップ
ビニールを被せてジュースを飲んでみたよ!



新聞紙で作ったお皿とコップ

ビニールを被せてジュースを飲んでみたよ!



高木秋まつり

10月8日(日)、西宮市の高木公園にて高木秋まつりが開催され、NVNADも例年通り『魚釣り』を出店させていただきました。当日は少し雲が多いながら過ごしやすき一日で、コロナ禍の間自粛していた「食べ物」の模擬店も復活し、高木公園は大賑わいでした。我々のブースも小さいお子さんを始め小学校高学年まで大勢の子どもさんが楽しんでくださり、一息つく間もないぐらい、嬉しい悲鳴をあげる一日となりました。高木地区の皆さま、手伝ってくださったボランティアさん、どうもありがとうございました。



《今後のご案内》 《どなたさまも大歓迎！》

1 防災パーク@そねちか 11月25日(土)・26日(日)

昨年に続き、今年も大阪梅田の地下街で防災啓発イベント「防災パーク@そねちか」を11月25日(土)・26日(日)の2日間開催することになりました。いずれ必ずやってくると言われている南海トラフ巨大地震の津波や、台風の影響による高潮災害に備えることを目的に開催します。防災ウォークラリーや災害食の紹介、避難所体験や停電時の避難体験など、色々な体験や展示コーナーがありますので、関心のある方はぜひ会場にお越しください。詳細は同封のチラシをご覧ください。



2 OSAKA MARATHON 2024 2024年2月25日(日)

昨年に
引き続き

チャリティパートナーに
採択されました!



2024年2月に実施される第12回大阪マラソンのチャリティパートナーに、当団体が採択されました。「大阪マラソン」を盛り上げていくと共に、防災・減災の大切さや寄付文化醸成の必要性を広く社会に発信していきたいと考えています。

10月末現在、下記の8名のランナーさんが当団体【日本災害救援ボランティアネットワーク】をチャリティパートナーに選んでくださっています。

当団体のホームページのトップページから [大阪マラソン チャリティパートナー](#) バナーをクリックしていただき、[チャリティランナーさんを支援してください!](#) で一覧が出てきます。

皆さまのご支援&当日の応援を心よりお願い申し上げます!!

① tetsuji さん



② 大塚黄司 さん



③ショットパー アイラ さん



④ リソウ さん



⑤ すみお さん



⑥ 青木裕士 さん



⑦ 北のくまモン先生 さん



⑧ 山本哲也 さん



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。 (2023年8～10月)

- | | | |
|--------|-----|-------------------------|
| 8月 | 1日 | 近畿ろうきん講座（兵庫県姫路市） |
| | | NVNADシンポジウム打合せ |
| | 9日 | 福知山&丹波訪問（京都府・兵庫県） |
| | 17日 | 近畿ろうきん講座（大阪府吹田市） |
| | | ニュースVol.135発行 |
| | 19日 | うちわ作成：トルコ・シリア地震（西宮市） |
| | 23日 | 近畿ろうきん講座（大阪府堺市） |
| 24～28日 | | 野田村訪問（岩手県） |
| | 26日 | 防災講座&防災ゲーム（兵庫県丹波市） |
| 9月 | 2日 | NVNADシンポジウム第1回（西宮市） |
| | 9日 | 近畿ろうきん講座（大阪府豊中市） |
| | 10日 | 災害ボランティアミニ講座（西宮市） |
| | 14日 | 関西学院大学災害ボランティア養成講座（西宮市） |
| | 22日 | 甲子園短期大学災害ボランティア授業（西宮市） |
| | 24日 | 生協フェスタ（大阪市鶴見緑地公園） |
| | 28日 | NVNAD通常理事会（西宮市） |
| 10月 | 8日 | 高木秋まつり |
| | 12日 | ボランティア連絡会議（神戸市） |
| | 14日 | 子ども防災クラブ（西宮市） |



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|-----|--------|-------------------------|
| 11月 | 4日 | 三都市宣言周年記念式典（西宮市） |
| | 11日 | NVNADシンポジウム第2回（西宮市） |
| | 12日 | 鳴尾北小学校防災訓練参加（西宮市） |
| | 17日 | ニュースVol.136発行 |
| | 18日 | 災害ボランティアミニ講座（西宮市） |
| | 19日 | ココロープ「災害食調理実習」（西宮市） |
| | 23日 | KOBE JAM（神戸市） |
| | 25～26日 | 防災パーク@そねちか（大阪市北区） |
| 12月 | 3日 | 高木小学校防災訓練参加（西宮市） |
| | 4日 | 第20回小学生ぼうさい探検隊本審査会（東京都） |
| | 10日 | 災害ボランティア養成講座（大阪府岬町） |
| | 11日 | 真備町訪問（岡山県倉敷市） |
| | 21日 | 甲東地区防災講演会（西宮市） |
| 1月 | 11日 | 瓦林地区防災講演会（西宮市） |
| | 16日 | 小田地区防災講演会（兵庫県尼崎市） |
| | 17日 | 1.17事業：未定 |
| | 20日 | NVNADシンポジウム第3回（西宮市） |
| | 27日 | 子ども防災クラブ（西宮市） |



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2023年8月1日～10月31日)

■会員のみなさま

個人賛助会員：「継続」中島久美子、渡邊一正、渡邊朝子、太刀掛俊之、萩原美紀

法人正会員：「継続」株式会社 GEOソリューションズ

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

古塚純枝、深山操江、石井保江、木下和寛、ひでぼ一、風雪月花Snow、ちびくん
けんむん、ヤフー株式会社、近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様
ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

■ご協力いただいたみなさま 株式会社高山堂、大塚製薬株式会社

(順不同、敬称略)

ご支援ありがとうございました。

なお、お振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

===

カレンダー市中止のお知らせ

===

1月の恒例行事である【チャリティカレンダー市】ですが、開催可能な会場の確保が困難なため残念ながら中止を決定致しました。いつもカレンダーをご寄付くださる皆さま、ご購入くださる皆さま、楽しみにしてくださっている皆さま、どうかご了承下さい。

お知り合いの方々にお伝えいただけますとありがたいです。何卒よろしくお願い申し上げます。

NVNADを支えて下さい

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂いた寄付は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

☆【銀行】 三井住友銀行 西宮支店 普通 No. 7833406

☆【郵便局】 郵便振替 01170-1-84310

どちらも（名義）特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることが出来ます。

1月中旬～下旬に寄附金受領証明書を送付させていただきます。

銀行振込ではカタカナ名しか把握できませんので、お手数ですがご住所とお名前をお知らせ下さい。

TEL 0798(34)9011 FAX 0798(34)9022 e-mail: ni shi nomi ya@nvnad. or. jp

編集後記

地元西宮を例に挙げると、コロナ感染がようやく落ち着いてきて、地域の活動もまだばらつきはあるものの徐々に再開されてきています。自治会や青少年愛護協議会などコミュニティ組織の役員さんにお会いすると、「防災」についても関心が高まっているとのことなので、当団体も地域にどんどん出向いて行って、啓発活動のお手伝いを頑張っていきたいと思っています。(H・T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：檜垣龍樹